

令和7年1月15日

『デンマークの人づくり 個性に応じた社会参加を支援する』を出版

このたび、ひとなる書房より福島大学の谷雅泰教授、青木真理教授をはじめとする執筆陣が手掛けた『デンマークの人づくり 個性に応じた社会参加を支援する』が2024年12月に出版されました。共著者には福島大学の高橋純一教授、福島市手をつなぐ親の会の石川弘美氏、デンマークの教育・若者支援の専門家カーステン・ボトカー氏が名を連ねています。本書では、デンマークでの実地調査を基に、個々の特性を活かした社会参加を支援する仕組みが詳細に述べられています。

著者らは科学研究費を受けるなどし、10数年にわたりデンマークの教育、若者支援について現地調査を行ってきました。本書はその成果を報告するもので、2017年に出版した『転換期と向き合うデンマークの教育』（谷雅泰・青木真理編著 ひとなる書房）の続編にあたります。

■本書の内容とその意義

本書は、2024年9月に行った視察の成果をもとに執筆されました。その内容は以下のとおりです。

- 第1章 デンマーク教育改革・再考（谷雅泰）
- 第2章 KUI デンマークの新しいガイダンスシステム（青木真理）
- 第3章 KUI に関連する法律（青木真理）
- 第4章 若者を社会につなぐ新しい道の模索—FGU（準備的基礎教育）の創設（谷雅泰）
- 第5章 デンマークのインクルーシブ教育—「障害者の権利に関する条約」を手掛かりにして（高橋純一）
- 第6章 発達障害のある人への就労支援—デンマークのSTU、日本の就労移行支援事業（青木真理）
- 第7章 誰もが共に生きる権利を求めて—障がいのある息子と共に（石川弘美）
- 第8章 若者支援に尽くしたカーステン・ボトカー氏の回想（カーステン・ボトカー著、谷雅泰訳）

デンマークも貧困、障害、不適應、学習困難など、若者の問題は多様です。本書は、そうした問題に対応しながら20年余りにわたって教育の改革、若者支援策の改革を続けてきたデンマークの現状を紹介し、日本でひとりひとりの個性を生かした社会参加を実現させるためにそこから何を学ぶかということについて述べています。

本書では、大学の研究者だけでなく、障害のある息子をもつ保護者である石川弘美氏も視察と執筆に加わり当事者の視点から意見を述べているところも本書の特徴で

す。また、長年デンマークでの調査で協力関係にあたる、カーステン・ボトカー氏の回想録も、非常に興味深い内容となっています。

本書がみなさまにとって有益な参考となり、社会参加の重要性について考えるきっかけとなれば幸いです。

(お問い合わせ先)

人間発達文化学類・教授 青木 真理

電話：024-548-8111

メール：aoki@educ.fukushima-u.ac.jp